

## 2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 3 月 10 日作成)

委員会名	伝熱 WG	主 査 名：吉田 治典
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 熱環境小委員会	委員長名：吉田 治典
設 置 期 間	2003 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	伝熱 WG は、下部に 3 つの SWG を設置し、全体の統括を行う。	
委員構成 (委員名(所属))	吉田 治典(京都大学), 西岡真稔(大阪市立大学), 永田 明寛(東京都立大学), 岩前 篤(近畿大学), 石野 久彌(東京都立大学), 宇田川 光弘(工学院大学), 絵内 正道(北海道大学), 永村 一雄(大阪市立大学), 郡 公子(宇都宮大学), 二宮秀與(長岡造形大学), 芝池 英樹(京都工芸繊維大学), 松本 真一(秋田県立大学), 龍 有(北九州市立大学), 井上 隆(東京理科大学)	
設置 WG (WG 名: 目的)	<p>1. 都市と熱 SWG 建築の伝熱設計の立場から、建築物が都市へ与える熱負荷、あるいはヒートアイランドが建築物へ与える熱的影響について検討する。</p> <p>2. 熱性能同定 SWG 建物竣工後の熱性能を、現場検証ないしはシミュレーションにより明らかにする手法について検討する。</p> <p>3. 熱シミュレーション資源 SWG クラスライブラリ SWG(2002 年度終了)の成果を引き継ぎ、その拡充を図る。熱シミュレーションに関わるプログラム・データを収集整理、ホームページ等を通じた公開を行う。</p>	
2003 年度予算	180,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	下部の 3 SWG との共同開催 2003/5/24: 19 名、2003/7/12: 30 名、2003/10/25: 28 名、2003/12/5 (熱シンポジウム 117 名)、2004/3/6 28 名
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 1 年間に計 4 回の WG, SWG 合同部会を開き、WG 傘下の 3 SWG の持ち寄り研究成果について検討を行った。 また、熱シンポジウムを 2003 年 12 月に開催し、117 名と多数の参加者を得た。熱シンポジウムの各セッションでは、WG 傘下の SWG から研究成果を発表し、参加者によって活発な討論が行われた。その討論の記録は、WEB 等を通じて配信する予定である。
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 熱シンポジウムにおいて WG 活動の成果を広く公開することにより、2003 年度の目標は十分に達成された。
その他評価すべき事項	